



ほうせい

<http://www.housei.obihiro.ed.jp>

- たくましく元気な子ども
- よく考え進んで学ぶ子ども
- 明るく心豊かな子ども
- 力を合わせやりとげる子ども

令和2年6月16日

豊成の感染防止対策 6月版

新しい感染症対策をまとめましたので、お知らせします。付け加えた点や変更した点は、青色で表示しています。



保護者の皆さまには、ご心配をおかけしますが、子どもたちの健康のためご理解・ご協力をお願いします。

- 発熱等の風邪症状がある場合は、自宅で休養してもらいます。（出席停止となります）
（持病がある場合や保護者の判断で登校させない場合も出席停止扱いとなります。）
登校後、具合が悪くなった場合については、検温、日常の状況を勘案し、連絡します。
- 朝の健康観察で発熱の有無を確認します。
（確認できない場合は、保健室等で検温します。）

【基本姿勢】

「学校は安全なところ」を大前提として、学習活動・学校生活における感染リスクを可能な限り下げます。

- 感染を学校に持ち込まない（検温・健康観察）
 - 感染のつながりを断つ（マスク・手洗い・消毒）
 - 抵抗力を高める（食事・睡眠・体力づくり）
- 密閉・密集・密接を避け、集団感染を防ぐ。

- ◎活動等に迷ったときには、どれが当てはまるのか、当てはまらないようにするために、出来る限りの工夫をこらします。
- ◎活動内容や参加人数など、必要なことは記録し、日常の授業の様子を確認します。
万が一、感染者が出た場合に備え、活動の規模や内容を明確にします。

【基本的な感染症対策】

- 児童、職員ともに日常的な手洗いを徹底し、マスクを着用します。
- 登校時、児童玄関でアルコール消毒を行います。
（アトピー・アルコール不適の児童は手洗い）
- 給食時間前の学級消毒や放課後等の校内消毒は、換気を十分行いながら実施します。
（ドアノブやスイッチ等、多くの児童が使用する部分）
- 始業前、休み時間、放課後には必ず教室内の換気を行い、環境衛生を徹底します。



【教育活動】

- 密を避けるため、どの活動においても、人との距離を出来る限り確保し、活動します。
- 座席については、出来る限り、児童同士の間隔をあけています。
- 原則、学級単位以上の教育活動を行いません。
- 実技を伴う体育の授業などにおいては、密集する運動や組み合わせ運動、声を出しての活動は避けます。換気が適切に行われており、十分な距離を保てる場合はマスクの着用は必ずしも必要ではありませんが、児童間の距離に注意します。（熱中症予防等のために、人のいないところでマスクを外し、深呼吸等することも指導しています。）
- 家庭科や総合的な学習の時間などでの、飲食を伴う活動は、当面実施しません。
- グループ学習など、机を合わせた話し合い（対面）はできるかぎり避け、短時間で行います。
- 現在音楽科では、歌は指導していませんが、今後判断しマスクを着用して指導する予定です。リコーダー（運指のみ可能）、鍵盤ハーモニカは1学期間には行いません。リズム楽器（カスタネットや鈴）などは使用後、消毒します。
- 休み時間については、3つの条件が同時に重ならないよう指導しています。
遊び場所の割当てを行い、密集空間を避け、教室に戻る前には手洗いを行います。



（裏面に続く）

- 集会（始業式や着任式等も含む）等については、校内放送やICTなどを活用し、集団で集まることを避けま
す。
- 蛇口の共有が不安な児童は水筒を持参しても構いま
せん。
- 図書室やパソコンルームの利用はアルコール消毒後とし
ています。

【学校給食】

- 給食前の手洗いを徹底しています。
- 給食当番は、特定の者に限定（1～
2週間交代）とし、清潔な身支度
（マスク、エプロン、三角巾な
ど）、手洗いの確認を行い、記録し
ています。
- 食事中は前を向いたまま、大声での会話などを控え、咳
エチケット（ハンカチや袖）を徹底します。
- 給食前後の机や配膳台などは、消毒を徹底し、清潔に保
ちます。
- 牛乳パックは開封、洗浄せず、折りたたんで回収してい
ます。



【掃除】

- 掃除後の手洗いを徹底します。当面の間、児童によるト
イシ掃除は行いません。

【心のケア】

- いじめや差別、偏見などがないよう、道徳の時間をはじ
め様々な場面で指導します。
（コロナ菌呼びわりや咳をした子への指
摘等、感染した方への誹謗中傷など）



【放課後の指導】

- 放課後も学校での生活と同じように、たくさんの人数が
集まって遊ぶことは、感染のリスクが高いため、控えるよ
う、また、密にならないような遊び方を工夫するよう指導
しています。